特定医療費(指定難病)支給認定の更新手続き連絡票

**別紙１**

◎申請者は、以下の太枠内を記入のうえ、この連絡票と受給者証を

医療機関の窓口に提出し、臨床調査個人票の作成を依頼してください。

◎臨床調査個人票は難病指定医（協力難病指定医）が記入できます。前回申請時と医療機関（主治医）が異なる場合は、作成可能か医療機関にご確認ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな氏 名（受給者） |  | 出生時氏名（左記と異なる場合に記入）ふりがな氏 名 |
| ※該当項目に〇をつけてください |
| 生年月日 | 明治 ・ 大正 ・ 昭和 ・平成 ・ 令和年　 　月　 日 | 出生市区町村※市町村合併があった場合は、合併後の名称を記入　・現住所と同じ　　　　・現住所と違う(記入：　　　　　　　　) |
| 住 所 | 〒 |
| 病 名（指定難病） | ※受給者証に記載のある病名を全てご記入ください。複数の病名がある方で、受診先の病院が違う場合には、それぞれの病院に作成を依頼してください。 |

【申請者の記入欄】臨床調査個人票の作成に以下の情報が必要となります。

【指定医療機関のご担当者・指定医の皆さまへのお願い】

～必ず、最後《裏面》までお読みください～

１ 申請者への更新手続きの案内には、臨床調査個人票を同封しておりません。

病名を確認のうえ、以下の方法により臨床調査個人票を入手いただき作成をお願いします。

・厚生労働省ホームページ《『指定難病　厚生労働省』で検索》からダウンロードできます。PDFファイルで出力でき、直接入力することが可能です。

・医療機関において、臨床調査個人票の用紙が準備できない場合は、申請者自身で用紙を入手いただくか、各厚生センターや支所、富山市保健所や各保健福祉センターの窓口に取りに行っていだだくようお伝え願います。

２ 令和５年10月の制度改正により、全ての疾病において臨床調査個人票が改正（診断年月日欄が追加）されました。**各ページの右下に印字されている帳票IDの上４桁が「2309」のものを使用ください。**



　※当面の間、旧臨床調査個人票でも申請は可能ですが、その場合は医師の「記載年月日」の下などに「診断年月日」を追記くださいますようお願いします。

**→ 裏面を必ずご参照ください**

３ 臨床調査個人票は難病指定医（協力難病指定医）が記入できます。

・最終ページに指定医番号と医師の氏名を記載ください。

４ 重症度分類は、直近６か月で最も悪い状態で記載ください。

・厚生労働省ホームページに掲載されている各疾病の概要、診断基準等をご確認ください。

・重症度分類に係る必要な検査等の実施をお願いします。検査が実施できない事情がある等により未実施の場合は、余白にその旨を記載ください。

・重症度を満たさない場合でも、高額な医療を継続することが必要な方は、医療費助成の対象となる場合があります（軽症者特例）。該当する方には、申請するよう勧めてください。

事務担当：富山県厚生部健康対策室健康課疾病・難病担当

076－444－4513

各厚生センター・支所、富山市保健所